関東自・高速バス「マロ

来月、海外客ら取り込み

関東自動車（宇都宮市簗瀬4丁目、手塚基文社長）は28日、成田空港と本県との間で運行する高速バス「宇都宮・成田空港線（マロニエ号）」のJR日光駅前までの延伸を4月1日から再開し、成田発の便数を1日2便から3便に増やすと発表した。日光延伸便は昨年4～11月に初めて運行したが、海外からの観光客増加を受け、4月から通年運行とする。（太田啓介）

日光延伸便は、海外からの個人旅行客に加え、格安航空会社（LCC）などで成田空港を訪れる国内旅行客を取り込むのが狙い。同社によると、昨年の運行で外国人観光客の利用が目立ち、最近は温泉などを求めて冬季の観光客も増えてきていることから、増便と通年運行を決めたという。

マロニエ号は同社と千葉交通（千葉県成田市）が共同運行している。昨年も運行した日光発午後2時42[illegible]便、成田発午前8時50分[illegible]同11時5分の2便に加え[illegible]今回は成田発午後2時35[illegible]便を新たに日光まで延伸[illegible]る。これにより成田空港[illegible]午後1時ごろまでに到着[illegible]た旅行客の利用が可能に[illegible]る。

運賃は成田空港～JR[illegible]光駅前で大人片道450[illegible]円（税込み）。

日光市と協力し、外国[illegible]

関東自動車の斎藤健史高速バス部長は「増便により、これまでの約2倍の到着便に対応できるようになる。高速バスで真っすぐ日光に来て、四季折々の日光を楽[illegible]

県の「とちぎヘルスケア産業フォーラム」の参加企業などが、分科会テーマのヘルスツーリズムの商品を企画し販売に乗り出した。[illegible]

た「美しくなれるまち喜連川　美活旅」として、女性対象に、3月4日にさくら市のかんぽの宿栃木喜連川温泉を宿泊先にした1泊2日コースを販売している。[illegible]

できる

夕食は低カロリーメニュー、昼食は地元飲食店考案の豆乳やヘルシー野菜を使った「美肌麺」が楽しめる。日帰りコースもある。

技術や人工知能（AI）などの先端技術の開発を担う組織「R&DセンターX」を子会社の本田技術研究所に4月1日付で新設すると発表した。自律したロボッ[illegible]やAIを活用した自動運[illegible]などの研究、開発を進め[illegible]

[illegible]昨年9月に東京都港区に[illegible]設した研究所を活用し、[illegible]学やベンチャー企業などの共同研究にも乗り出す[illegible]針だ。

新組織に所属する人数な[illegible]は公表していない。

ホンダは昨年12月、米グ[illegible]ーグルと完全自動運転のための共同研究の検討を発表。2020年をめどに高速道路での車線変更が可能な自動運転技術の実用化を目指している。

東京都内で記者会見した本田技術研究所の松本宜之社長は「ホンダの持つ強みと外部の方々の持つ強みを融合し、新価値の創造に取り組みたい」と話した。

比較サイト「新電力バンク」

電気料 店舗で見積もり

宇都宮に 10日1号店

電力各社の料金を比較見積もりできるサイト「新電力バンク」運営の商業支援組合合同会社（東京都港区、南木徹代表社員）は10日、宇都宮市中央2丁目に対面で電力料金を見積もる店舗をオープンする。

店頭には、独自開発アプリを搭載したタブレットを使って相談に応じる「電気コンシェルジュ」を配置。五つ程度の設問に答えてもらい、最適、最安プランを提案する。

電気に関わる各種疑問にも答え、電力供給切り替えにも応じる。見積もりから切り替えまで全て無料。

同社によると、一般家庭や商店向けの対面型店舗は業界初という。南木代表が宇都宮市出身で、1号店を同市にした。

同社は2018年4月を目標に全国で100の対面型店舗（フランチャイズ含む）を開設し、100万世帯の電力切り替えを目指すとしている。（伊藤一之）

春闘方針を説明する連合栃木の加藤会長＝28日午前、県庁

連合栃木

ベア2%相当目指す

17年春闘方針を発表

連合栃木（加藤剛会長）は28日、県庁で記者会見し、月給の2%相当のベースアップ（ベア）を目指す2017年春闘方針を発表した。ベア要求を掲げるのは4年連続で、昨年に続き2%相当とした。加藤会長は「16年まで3年間賃上げを達成できたが、消費でなく貯蓄に回り社会保障費の増額もあって賃上げの実感がない状況だ。（賃上げの）流れを止めない」と述べた。

連合本部の方針に基づき、「底上げ・底支え」「格差是正」「長時間労働撲滅」を掲げて闘う。賃上げについては、定期昇給に当たる賃金カーブ維持分4500円を含め「総額で1万500円以上」を要求目安とした。

長時間労働撲滅について[illegible]しい業種・業態もあるが自殺や過労死を絶対に起こしてはならない」と決意を語り、労働時間に関する協定・規約の見直しや強化、育児や介護との両立支援促進[illegible]

非正規労働者に対しては、処遇改善に向けた具体性ある運動の展開や、「誰もが時給1千円」実現を目指して取り組みを進めるとした。（田面木千香）

東京「とちまるショップ」運営

ファーマーズと再契約

県は28日の県議会経済企業常任委員会で、東京スカイツリータウン「ソラマチ」内にある本県のアンテナショップ「とちまるショップ」（東京都墨田区）の次期運営事業者はファーマーズ・フォレスト（宇都宮市新里町、松本謙社長）とし、同社と再契約することを明らかにした。

今年5月31日に現在の契約期間が満了することに伴い、公募型プロポーザル方式で募集し、同社のみ参加した。これまでの実績や企画提案書などを踏まえ総合的に審査し決定した。

契約金額は無償で、売上高の8%を納付する。契約期間は2017年3月1日～22年5月31日。

県は17年度一般会計当初予算案にとちまるショップの改装費として2560万円を計上している。11月に改装し、12月にリニューアルオープンする予定。

とちまるショップは本県の情報発信や県産品の販路拡大を狙い、12年5月にオープンした。菓子類や酒、工芸品など約1千点を取り扱う。（伊沢真一）

トーク

古代米日本酒「愛米魅」をクラウドファンディングで先行販売し、目標金額を突破した西堀酒造（小山市）。西堀和男社長（58）は「日本酒のバリエーションを広げたいと思い、若い世代に新しい味わいを提案したかった」と個性的な酒の提案に手応えを感じる。

個性的な日本酒追求

個性的な酒としては、酒造好適米・雄町を使った純米大吟醸「西堀」もその一つ。通常の甘口なら日本酒度マイナス3程度だが、西堀はマイナス13の〝超甘口〟で純米酒大賞2016の金賞に輝いた。

「おいしい酒が当たり前になり、お客さんは何を基準に選ぶのか。流れはさらさらと飲める酒から、味わいの多い酒を求めている」。違いが分かる、個性的な酒造りを追求する。

《人　事》

◇東武宇都宮百貨店　（1日）

副本店長（東武百貨店経営企画部長）白井祐二▽営業政策室長兼営業政策部長（営業政策室長）池田顕浩▽外商部担当部長（外商部外商六課長）小野口敬康▽人事部付（外商部付部長）鈴木一志

◇JA共済連栃木　（1日）

副本部長（自動車損害調査部長）青柳尚武▽管理部長（普及部長）渡辺明▽JA支援部長（自動車損害調査部宇都宮自動車損害調査サービスセンター長兼損害調査Ⅱグループ課長事務取扱）綱川浩行▽損害調査部長（管理部長）田村登志郎

（4月1日）

全国本部関東・甲信越地区業務センター長（業務部長兼業務総合グループ課長事務取扱）江部典幸

めぶきFG、県に200万円

さと納税活用

スポート作製に

県は28日の県議会経済企業常任委員会で、「企業版ふるさと納税」を活用して、足利銀行（松下正直頭取）と常陽銀行（寺門一義頭取）を傘下に置くめぶきフィナンシャルグループ（FG、東京都）か

県は昨年11月、JRグループの大型観光企画「デスティネーションキャンペーン（DC）」に合わせ実施するDC販周遊パスポート事業で国から認定を受けた。県の事業では初めてで、同事業に適用さ

の観光や宿泊など900を超える施設が参加する。対象施設でパスポートを提示すると割引きなどの特典が受けられる。新たなパスポートは、ステージアップに伴うDC賞の創設など拡充を予定するほか、めぶきFGの名称も記される。

県は事業認定後、ホームペ

製品パッキング技術学ぶ

アビリンピックへ練習会

本県で11月に開催される

施設利用者の選手候補19人

緩衝材の組み立てを学ぶ選手候補ら＝28日午後、宇都宮市

本年度の県大会で同種目2位だった南那須特別支援学校高等部2年山口和也さん（17）は「教わった組み立て方だと余計な折り目が入らなかった。今年は県大会1位、全国大会出場を目指したい」と話した。

全国アビリンピックに向けては23日にビルクリーニング種目の講習会も開かれた。（田面木千香）

価

（28日）

出来高
59
220.5
115.7
117.8
53.1
8.8
5340.4
154.2
43.9
32.2
39.8
7
3.4
5.0
9.3
3
3.3
2.2
1.1
7